

■大三輪長兵衛 大阪の異能な財界人・政商として広く知られるも、大志実現に至らずに没した悲運の実業家。

おおみわちようべえ  
滑稽+人情本 1835=

九州黒田藩の箱崎村で、大神嘉納(管崎宮神職)の長男に生まれる。幼名一貫。祖父は管崎宮権大宮司。

適塾ホヰン・1838= 3歳：この年、吉田司家に背いた伯父大神多門が玄界島に流される。

勸進帳初演・1840= 5歳：弟磯夫が誕生。

天保改革始・1841= 6歳：妹ツル子が誕生。その余波で、父嘉納も管崎宮を追われ、一家流浪となり、以後、悲惨な暮らし。

天保改革終・1844= 9歳：

阿部正弘首座1845=10歳：

孝明天皇・・・1846=11歳：この年、伯父大神多門が配所で死去。

・・・1847=12歳：勉学を志し都に出たいと、両親に願ひ出るも許されず、脱藩を試みるも、母と伯母に連れ戻され、福岡藩士長濱六次郎(漢学者)・坂田七郎(皇学士)について学ぶ。この間、竹細工によって取入を得、

尊徳報徳論・1851=16歳：4年間にたまった金五両で、

学友の僧元識と九州を遊学。蘭医から西洋各国の事情を聞くうち、再び、箱崎に連れ戻られ、

ペリー来航・1853=18歳：ペリー来航の報を知ると、家出を決心、

何度も挑戦しては失敗の後、

五ヶ国条約・1858=23歳：

ついに俳人の暮雪より金一兩二歩を借りて大阪に渡る。京都の知人を訪ねるも会えず、大阪に戻り、雇人幹旋宿の大坂屋源兵衛の紹介により油屋由兵衛の雇人となる。非凡なところを認められ、由兵衛兄の呉服商米屋忠兵衛に紹介され、その手代に抜擢される。寄宿した木屋與兵衛の仕事に注目するうち、

安政の大獄・1859=24歳：その番頭に引き立てられ、越中御館付綿綿の買い付け業を始める。

桜田門外変・1860=25歳：\*與兵衛が急逝すると、遺族全員の賛同を得て、木屋商店を引継ぐとともに、大三輪長兵衛と改名。

生麦事件・・・1862=27歳：\*大坂町奉行の命により、箱館産物会所附の間屋となる。木屋商店の負債を完済、両親のため家屋を新築。

8月18日政変 1863=28歳：松坂屋新三郎と商船一隻(寛儀丸)を新造、北海道の航行を始める。帰国した際、恩人暮雪と会う。

禁門の変・・・1864=29歳：商船(天運丸)を新造、馬関(下関)及び九州の航行を始める。町奉行所の命で、御用金銀六貫目を上納。

薩長同盟・・・1866=31歳：大阪の目抜き通りの豪邸も購入。ついに箱館産物会所附間屋行司役に推挙される。

大政奉還・・・1867=32歳：長男奈良太郎が誕生。

明治維新・・・1868=33歳：天運丸を五百石積に改造、北海道各地に航行させ、通商司附北海道産物商社惣代として赴任するも、

戊辰戦争終・1869=34歳：在職一年で病を得て帰る。通商司附北海道産物商社の惣代木屋市宇郎の代判長兵衛となる。

初の日刊新聞1870=35歳：

廃藩置県・・・1871=36歳：寛儀丸を千六百石積に改造し、一層通商を盛んにする。

学問のすすめ1872=37歳：\*天下のために生涯を捧げようと、松前間屋を木屋の遺児佐太郎に譲り、父與兵衛の名跡を相続させる。諸株仲間の解散命令で、第一北海道産物商社を結成するが、

明治6年政変 1873=38歳：約1年で解散。内務卿大久保利通及び渡辺昇大阪府知事に、通商貿易を盛んにするための建白書を提出。

佐賀の乱・・・1874=39歳：大久保内務卿に再度、商法会議所の設立を請求。立志社を設立した板垣退助・林有造等の勧誘によって、小野梓・岡本健三郎等と奔走、江戸堀に立志社の出張所を設ける一方、

西南戦争・・・1877=42歳：土佐立志社暴動事件で共謀の嫌疑をかけられる。

大久保暗殺・1878=43歳：同志と第五十八国立銀行創立し、取締役。

琉球処分・・・1879=44歳：商法会議所構想が五代友厚を会長に実現。大阪同盟銀行手形交換所開設させ、その初代所長に就任。

・・・1880=45歳：岩倉右大臣に商務局設置を説き、

明治14年政変1881=46歳：農商務省が設置される。病理由に取締役を辞任すると、大阪府会議員に立候補して当選。

新体詩抄・・・1882=47歳：大阪府会副議長、全区部会副議長。自費を投じて、私立大阪女学校(大手前高等学校)を創立し、

「女学課程略解」という本まで書く。

秩父事件・・・1884=49歳：第五十八国立銀行取締役に復帰し、株主宮津賢次郎と経営をたて直し始める。

内閣発足・・・1885=50歳：奈良太郎がアメリカに遊学。松島小学校ほかに金品を寄贈し、学業を奨励。府長から表彰され教育委員。

国民之友始・1887=52歳：大阪府会議長。

女学校の経費負担が膨大となり、

帝国憲法発布1889=54歳：奈良太郎が帰国。ついに閉鎖して生徒を大阪高女に引渡す。初代大阪市会議長。第五十八国立銀行頭取。

帝国議会始・1890=55歳：初の国会議員選挙に立候補するも落選。自宅に突然日本駐在挑戦王国代理公使が朝鮮商人を助けたお礼に

訪れ、さらに正式な招待を受け、渡韓。一旦帰国して、要職全てを辞任すると、

大本教・・・1892=57歳：朝鮮貨幣制度改革のため、再渡韓するも、障害大きく、過労で倒れ、帰国。

この間、金玉均暗殺事件の嫌疑をかけられる。

日清戦争始・1894=59歳：東学党の乱を聞くと、林有三・竹内綱と京城に入り、高宗と会見、日清戦争の的確な見通しで信頼され、

参内自由の破格の待遇。

白馬会・・・1896=61歳：日本政府の要請により、京釜鉄道敷設権獲得のため渡韓。

子規句歌革新1898=63歳：衆議院議員当選。

ビアノ国産化・1900=65歳：京釜鉄道設立に際し、韓国鉄道院の監督官に任ぜられる。

日比谷公園・1903=68歳：政府の密命を受け、日韓議定書交渉のため渡韓。

日露戦争始・1904=69歳：高宗と会見。

日露戦争終・1905=70歳：京釜鉄道が完成。日露戦争後は、病に倒れ、静養一途。

韓国反日暴動1907=72歳：勲四等旭日小綬章。この年、高宗は讓位させられるも親愛の情変わらず、

ワザイ創刊・1908=73歳：\*危篤に際して、韓国政府から見舞いの使者が派遣され、勲二等八卦章を贈られてまもなく、没した。